

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	現代文
科目基礎情報						
科目番号	0040		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生産デザイン工学科（電気電子コース）		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「精選現代文B」筑摩書房、『生きる漢字・語彙力〈増補改訂版〉』駿台文庫					
担当教員	河田 和子,木本 拓哉					
到達目標						
国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、文章表現力を磨き言語活動の向上を図る。授業では近代以降の小説・評論・詩歌の学習を通して鑑賞力や想像力を育成し、主題を多角的にとらえる理解力、理論的に問題を考える思考力の向上を図る。語句・漢字学習を通して社会生活に必要な基本的な表現力・文章力を身につける。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	論理的な文章を読み、構成・展開・論旨を客観的に理解し、要約することができる。		論理的な文章を読み、構成・展開・論旨を客観的に理解することができる。		論理的な文章を読み、構成・展開・論旨を客観的に理解できない。	
評価項目2	文学作品を読み、主題や人物・心情・情景描写を理解し、その効果を説明することができる。		文学作品を読み、主題や人物・心情・情景描写を理解することができる。		文学作品を読み、主題や人物・心情・情景描写を理解できない。	
評価項目3	自らの考えをまとめ、作文・発表などで適切に表現できる。		自らの考えを、作文・発表などで表現できる。		自らの考えを、作文・発表などで表現できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、文章表現力を磨き言語活動の向上を図る。授業では近代以降の小説・評論・詩歌の学習を通して鑑賞力や想像力を育成し、主題を多角的にとらえる理解力、理論的に問題を考える思考力の向上を図る。語句・漢字学習を通して社会生活に必要な基本的な表現力・文章力を身につける。					
授業の進め方・方法	次回学習する単元については、語句の読みや意味を調べ把握しておくこと。また、疑問点や自らの意見を整理しておくこと。授業は応答を中心に進めるため、問いに対して主体的に応答すること。授業中に参考図書などを紹介するので、それをもとに自らの問題意識・関心を広げることがのぞまれる。					
注意点	漢字能力検定2級レベルの漢字・語彙の読み書きができる・語彙力を養うため、授業では漢字小テストを行う。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 随想（1）		授業の進め方を把握する。 難解な語句の意味を調べ、理解する。	
		2週	随想（2）		文章の主題・筆者のものの感じ方を適切に理解する。	
		3週	随想（3）		筆者の考えを理解し、全体を要約することができる。	
		4週	評論（1）		難解な語句の意味を調べ、理解する。構成を整理することができる。	
		5週	評論（2）		意味段落ごとに考えをまとめることができる。	
		6週	評論（3）		全体を通読し、話の展開をつかむ。筆者の主張を説明できる。	
		7週	評論（4）		各段落から考えをまとめ、筆者の主張について要約できる。それに対する自身の考えを他者に伝えることができる。	
		8週	前期中間試験		1～7週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。	
	2ndQ	9週	試験解説 詩（1）		不正解だった箇所について、なぜ不正解だったか考え、学習内容を再確認する。 近代詩を読み、詩的表現について説明できる。	
		10週	詩（2）		詩の解釈について考える。各詩人の心情・状況を理解する。	
		11週	詩（3）		詩の鑑賞文を作成する。他者の鑑賞文を読み、感想を伝えることができる。	
		12週	小説（1）		作品の時代背景と作者について知る。	
		13週	小説（2）		通読し、難解な語句の意味を調べ、理解する。	
		14週	小説（3）		構成と表現を理解し、人間心理のありさまについて考える。	
		15週	小説（4）		小説の内容について、自身の感じたことを文章化し、他者に説明することができる。	
		16週	前期期末試験		9～15週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。	
後期	3rdQ	1週	評論（1）		難解な語句の意味を調べ、理解する。構成を整理することができる。	
		2週	評論（2）		意味段落ごとに考えをまとめることができる。話の展開をつかみ、筆者の主張を説明できる。	
		3週	評論（3）		筆者の主張について要約できる。それに対する自身の考えを他者に伝えることができる。	
		4週	小説（1）		作品の時代背景と作者について知る。難解な語句の意味を調べ、理解する。	
		5週	小説（2）		作品のテーマと問題点を考える。	

		6週	小説（３）	作品に関する資料などをもとに、作品の問題点を考察できる。
		7週	小説（４）	作品の解釈を行い、他者と共有できる。
		8週	後期中間試験	1～7週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。
	4thQ	9週	試験解説 評論（１）	不正解だった箇所について、なぜ不正解だったか考え、学習内容を再確認する。 難解な語句の意味を調べ、理解する。
		10週	評論（２）	構成を整理し、意味段落ごとに考えをまとめることができる。
		11週	評論（３）	筆者の主張について要約できる。
		12週	評論（４）	筆者の主張に対する自身の考えを論理的に文章化し、他者に伝えることができる。
		13週	短歌・俳句（１）	近代短歌・俳句を読み、助動詞などの意味を理解する。
		14週	短歌・俳句（２）	各作品の時代背景について説明、鑑賞することができる。
		15週	短歌・俳句（３）	自ら短歌・俳句を創作し、他者の作品を鑑賞することができる。
		16週	後期期末試験	9～15週の学習内容を網羅して試験に出題し、学習内容の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	20	0	0	0	100
基礎的能力	70	10	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0